

発行 新潟市立児童発達支援センターこころん

〒950-0986 新潟市中央区神道寺南2丁目4-27

TEL (025) 247-6531 (通所支援・保育所等訪問支援)

FAX (025) 247-6541

(025) 247-6532 (発達相談・巡回相談・計画相談)



こどもたちの明るい未来を願って



通所支援
園長
奥住まゆみ

四月から通所支援グループの係長としてこころんに勤務しています。通所こころんの新入園児さん十六名とともにドキドキのスタートを切ったのですが、在園のこともたちと先生方の笑顔に迎えていただき、すぐに安心して過ごすことができました。

こころんでは、入園して最初の数週間、「親子通園」をしながらこころんの生活に徐々に慣れてもらいます。その間、保護者にこころんでの生活を知っていただくとともに、「ご家庭での様子もお聞きして、共有します。こころんでの療育の第一歩は、「こころんが安心できる場所」ということを知ってもらうこと、「先生大好き！」の気持ちを持ってもらうことです。が、こどもも保護者も最初は私と同じく緊張した面持ちで登園していました。職員は最初、おもちゃを出さず、ふれあい遊びなどを通して「こころんが安心できる場所」「安心できる先生がいる」ということを全力で伝えてきました。日が経つにつれ、徐々に緊張

がほぐれ、親子ともに笑顔が増えていく様子から、第一歩が順調に踏み出せたことを感じました。

在園のこどもたちもクラスや担任が変わりましたが、新入園児と同じく、職員は「先生大好き」になってもらえるよう、一人一人と向き合い、丁寧に関わりながら信頼関係を築いています。こころんのこどもたちの姿から「大好きな先生」と一緒に様々な経験を積み重ねることが成長につながっていることがよく分かります。

新年度が始まって早々に園内職員研修で「こころん」の名前の由来を教えていただきました。「こころん」心と理論。心を込めて、理論に基づき、一人一人に向き合うという願いが込められているそうです。

新潟市では今年の三月に「新潟市こども計画」が策定されました。新潟市こども計画の基本理念「こども・家庭・地域に笑顔があふれる、こどもと子育てにやさしいまちにいがた」の実現に向け、こころんに求められる役割も大きいと感じています。

こころんの名前の由来のように、こどもたち、家庭、地域に向き合い、寄り添いながら、相談支援グループ、通所支援グループとともに力を合わせて支援を行ってきたいと思っています。

発達に合わせた食事の支援

療 育 目 標

- ☆基本的生活習慣を身につける
- ☆社会性の向上をはかる
- ☆家族との情報交換や相談を密に行い、互いに理解を深める

こころん通所支援は、毎日の生活や遊びを通して、基本的生活習慣を身につけていくための支援を行っています。

今回は、「食事」についてのこころんでの支援を紹介します。

こころんでは、まず、保育者とたくさん触れ合って遊ぶことで保育者との信頼関係を築いていきます。はじめは泣いてお部屋に入ることが出来なかったお子さんも、保育者との信頼関係ができるとお部屋に入り、安心して過ごすことができるようになります。情緒が安定することで遊びにも意欲的に取り組む姿が見られるようになってきます。遊びの中で、食具を握ったり、すくったりする手先の動きを楽しく経験できるようにしています。また、たくさん遊ぶことで空腹感や食べたいという気持ちも引き出しています。

具体的な支援として、姿勢を保つことが難しいお子さんには、足台を用意することで姿勢を整えやすくしています。また、発達段階を確認し、お子さんに合わせた食具を使用しています。食べる際、保育者がお子さんに手を添えて食具の持ち方や使い方を丁寧に伝え、食具を使って楽しく食事ができるように支援しています。ほかにも、口の動きや咀嚼に合わせた食事の量や形状を変えた食事の提供を行っています。お子さんひとりひとりに合わせた必要な支援を丁寧に行うことで、「もっと食べてみたい!」、「できた!」という成功体験を積み重ねています。こうした食事を楽しめる環境づくりに今後も力を入れていきます。

(中野 あすか)



足台を使って
いる様子



柄が太い形状の
握りやすいスプ
ーンを使用する
様子



事務・保健・給食



年少組



年中組



年長組・フリー職員

通所 こころんの給食について

こころんでは、季節の食材を取り入れて、色々な食材を食べる機会を作るよう心掛けています。偏食があるお子さんもありますが、少しずつ給食に慣れて、食べられるものが増えるようになることを目指し、毎月ほぼ同じ献立にしています。カレーライス等のメニューで、ごはんと具材が混ざっていると食べられないお子さんには、それぞれ分けて提供する等、少しでも食べてもらえるよう工夫しています。

お子さんの食への興味につなげるため、調理前の野菜に触る活動も行っています。興味津々で玉ねぎの皮を剥いたり、匂いをかいでみたりと様々な反応があり、野菜に興味を持ってもらう機会になっています。

昨年度は食に関する保護者講座を行いました。保護者のお悩みとして多かった「偏食」について、食べられるものを増やすためのポイント等をお話ししました。こころんで食べることができた献立の茹で加減や味付け、形状なども保護者の皆様へお知らせしています。

(平野 なるみ)



発達 相談

発達相談としての連携・協働

発達相談担当の連携先は、数年前まではお子さんが在籍する園や、保健師が主でした。

一方近年では、園や保健師はもちろんのこと、福祉サービス（児童発達支援・保育所等訪問支援）事業所、相談支援専門員、医療機関、新潟市障がい者基幹相談支援センター等多くの機関と連携することができ、お子さんに関する関係者会議への出席も増えてきました。特別なことではなく当たり前のこととして連携・協働できる時代となり、各機関が強みを生かし、お子さんの支援ビジョンを共有し、チームとしての支援が行えるようになってきています。

当センター発達相談の来所相談は就学前のお子さんを対象としているため、就学時には保護者の同意を得て、各区教育支援センター、就学先、次の支援機関・相談機関に情報を引継ぐことも行っています。お子さんのライフステージが変わっても途切れることなく地域で安心して生活していけるように、先を見据えながらご相談に応じています。（本間 薫）



巡回 相談

園と保護者が協力しあい、子どもたちの成長を支えるために

園の集団生活の中で、お子さんたちは先生方や友だちと一緒に様々な経験を積み重ねながら成長していきます。保護者とともに日々の成長を喜び合いつつ、もしお子さんに集団の中で困っている姿があった時には、そのことも保護者と共有し、家庭と連携しながらお子さんの育ちを支えていくことが必要となります。お子さんの健やかな成長を願う気持ちは、園の先生方も保護者も同様だと思います。両者が協力しあって適切な対応を積み重ねていくことで、お子さんのよりよい成長に繋がってきます。

昨年度より巡回相談では、保護者とのお子さんの状態の共有に際して、各園の発達支援コーディネーターの先生方からさらに力を発揮していただけるよう、カンファレンスの持ち方を変えました。各園でお子さんの対応についてカンファレンスをした中で「この対応で良いのかな?」「もっと良い方法があるかな?」等と迷った時には、私たち巡回相談員と一緒に考えていきますのでご相談ください。（熊倉 恵理香）



計画 相談

計画相談の基本相談支援とは

「児童発達支援の利用を勧められたけど、うちの子に必要なことなの?」、「児童発達支援を使いたいけれど、どこの事業所がこの子に合っているの?」等、福祉サービスを利用する前の悩み事は、計画相談の基本相談で対応いたします!

こころんの基本相談は、相談支援専門員が保護者からお子さんの状態等をお聞きするだけでなく、お子さんにお会いしたり必要に応じて在籍園を訪問したりして、丁寧にアセスメントを行っています。そして、お子さんやご家族が混乱せずに安心して生活することを大切にしながら、集団生活の主軸となる場所、支援目標、支援内容、利用頻度等をご提案させていただきます。

福祉サービスの利用が決まったら、保護者・サービス提供事業所の児童発達支援管理責任者・在籍園の先生方等を招集し、担当者会議を開催します。お子さんに関わる人達と支援の方向性を共有し、役割分担しながらチームでお子さんの発達を支援していくように努めています。(渋谷 美保)



保育所等 訪問支援

「家族支援」で大切にしていること

保育所等訪問支援では、訪問先への「訪問支援」に加えて「家族支援」にも力を注いでいます。昨年度は利用者の4割が家族支援を希望され、年間37件のご利用がありました。

家族支援では、訪問先で有効だった支援方法をご家族と共有し、家庭でも活かせるように個々に合わせた支援グッズの作成方法や使い方の提案、実践を行っています。支援員は、訪問先と家庭が連携して一貫した支援を行う橋渡し役を担っています。

年長児のご家族への個別相談では、お子さんにあった学びの場を、園での生活の様子や支援を踏まえて一緒に考えています。年度末には就学に向けての移行支援会議に出席し、就学先へ支援情報を提供することで必要な支援が途切れなく続くようにしています。

就学後の家族支援では、新しい環境で生じた様々な保護者の思いに寄り添い、課題解決の提案を行っています。(笹崎 風子)



市内にも保育所等訪問支援を提供する事業所が少しずつ増えています。他事業所とも学びあう機会をもち連携をとりながら、よりよいサービスの提供を目指していきます。また、現在それぞれの事業所の特色をまとめたガイドを作成中です。完成後「新潟市保育所等訪問支援事業所ガイド」としてホームページに掲載する予定です。

苦情解決について

・職員の対応及び療育時間について、苦情がありました。改善点について保護者様と直接話し合いをさせていただきました。

寄贈品について

・三越伊勢丹グループ協同組合 新潟三越伊勢丹支部様より
ボールプール 1個
・新潟南ロータリークラブ様より
マウントブロック大・小 各1基、ブランチウオーク 1基
ご寄贈いただき、ありがとうございました。